

### ○地域とのつながり

- ・綿プロジェクトに象徴されるように地域の人々が北斗寮の若者の力を必要としている。日々のつながりの大切さ
- ・つながりを大切にすることで信頼を得る

### ○地域協議会

- ・ひきこもりは、複合的な問題を抱えている。一機関では限界がある。
- ・支援機関の強みを活かして、横断的な支援が展開できる。

## 学びから活かしていきたいこと

### ○アウトリーチ

ケースの再検証／ニーズ把握やPR方法の見直し／支援者のスキルアップ／チームアプローチの体制づくり

### ○プログラム体験

地元の企業・商店・若者サポートステーションなどと連携。  
対人関係・社会体験から仕事に対するイメージができる  
プログラムづくり

### ○中間的就労の取り組み

### ○連携

子ども若者育成支援推進法による地域協議会の検討

### ○地域とのつながり

- ・地域のひきこもり実態を知る
- ・地域を豊かにするための理解者づくり

## 研修前と後の自分自身の変化

- 訪問現場を見たり、ロールプレイを行うことで家族や本人に対する関わり方や支援の展開について、イメージを持つことができるようになった。
- 本人への関係性重視→アセスメント・インテーク及び家族との関係性とリアルな情報を届ける視点も必要
- チームアプローチへの意識
- 支援機関の役割分担・連携・仕組みの必要性
- 合宿方支援に対するイメージの変化
- 地域の実態を知る(どんなニーズがあるのか?)
- 市民の理解を進めていく

研修生⑬

特定非営利活動法人 青少年自立援助センター 北斗寮

## アウトリーチ(訪問支援)研修

認定特定非営利活動法人コムサロン21

ひめじ若者サポートステーション